

第10回 日本少年野球 北陸ジュニア大会

2023. 6/25, 7/1, 2

*Hang in there,
next heroes!*

会場 物見山球場・富山県営球場・片山津球場・城南スタジアム・寺井球場
主催 公益財団法人日本少年野球連盟北陸支部
後援 公益財団法人日本少年野球連盟・北國新聞社・富山新聞



承認番号
NN-5-17

J a p a n B o y B a s e b a l l



野球をしながら 団結・友愛・規律・勇気・忍耐を 身につけよう

(公財) 日本少年野球連盟規約 第四条

この法人は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に、正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて、心身の練磨とスポーツマンシップの理解に努め、規律を重んずる明朗な社会人としての基礎を養成し、次代をになう少年の健全育成をはかることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟
会長 惣田 敏和

ご挨拶



大会長

公益財団法人日本少年野球連盟

北陸支部 支部長

山西 祥夫

今年は5月から既に暑い日を迎えることが多くなり、ややもすれば真夏日での大会となるかもしれない年となりました。

6月には、選手権大会に向けて、各支部での予選大会も終えつつあります。各チームの皆様におかれましても、新チームの始動へと進まれているところもあるかと存じますが、この北陸の地でのジュニア大会も10回めを数え、6月のおなじみの大会として、各支部よりご参加して頂きますこと、心より感謝申し上げます。そして、大会に出場される、新メンバーでの選手諸君の不断の努力の成果を十分に発揮され、素晴らしい大会となることを期待しております。

今大会を開催するにあたり各支部、各チームにおいて御理解、御協力を賜り感謝申し上げます

最後になりますが各チームにおかれましてはますますのご活躍を祈念いたしまして本大会の挨拶とさせていただきます。

洋々たる未来によせて

会長

渡邊 滉



少年野球の皆さん、野球とは、何とすばらしいスポーツでしょう。勝った時、全員で飛び上がって喜んだあの感動。負けた時、チームメイトと涙を流したあの悔しさ。どんなに辛くても、がんばろうと励まし合った仲間たち。チームワークの大切さ。最後の1人・最後の1球まで諦めない強い心。夏の炎天下、歯をくいしばってノックを受けた精神力。血豆が潰れても、真っ暗になってもバットを振り続けたがんばり。

これらはすべて、野球が皆さんに与えてくれた、かけがえのないものです、人生の宝物です。

どうかこれからも、野球を愛し、仲間たちを愛し、自分の人生を大切にして、大きな夢に向かって真っ直ぐに進んで下さい。皆さんの洋々たる未来に期待しています。

第10回 日本少年野球 北陸ジュニア大会 役員

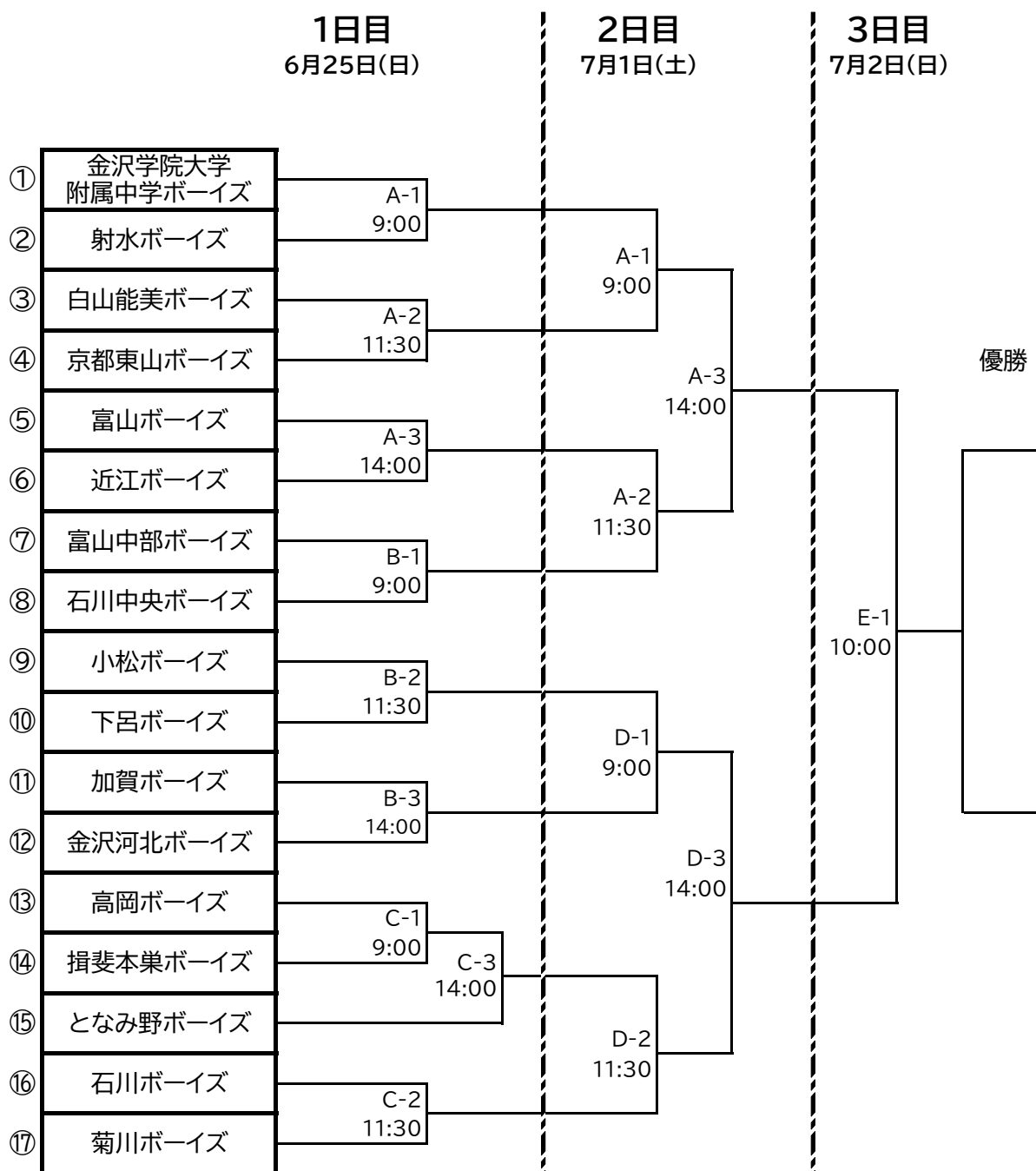
大会相談役	(公財)日本少年野球連盟 理事 北陸支部担当役員	伊藤 裕章			顧問	(公財)日本少年野球連盟 名誉会長	藤田 英輝
同	北陸支部相談役	林 茂信	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 会長	惣田 敏和
同	北陸支部相談役	南山 修一	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 副会長	工藤 眞一
同	北陸支部相談役	南藤 陽一	相談役	同	同	(公財)日本少年野球連盟 専務理事	大富 肇
大会会長	北陸支部長	山西 祥夫	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 常務理事	岡 陽一
大会委員長	北陸支部長代理	村山 和光	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 常務理事	飯田 研二
大会副委員長	北陸副支部長	井野上 盛光	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 常務理事	吉岡 正人
大会運営委員長	北陸支部理事	野原 雅明	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 理事	松本 行弘
大会会計部長	北陸副支部長・会計部長	定塚 泰良	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 理事	榎原 隆宏
大会運営副委員長	北陸支部理事	梅田 英範	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 理事 待遇	杉浦 真一
同	同	佐々木 昭博	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 理事 待遇	藤本 善一
同	同	島 隆之	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 理事 待遇	松尾 勝
同	同	中井 昌人	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 特別相談役	堀内 健
同	同	中山 晃一	参与	同	同	(公財)日本少年野球連盟 静岡県支部長	矢田 正行
同	同	中町 光教	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 滋賀県支部長	松島 徹也
同	同	野替 隆博	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 京都府支部長	西 康次
同	同	松山 健一	同	同	同	(公財)日本少年野球連盟 岐阜県支部長	澤田 和尚
大会運営委員	石川ボーイズ副代表	高松 陽一				*	
同	石川中央ボーイズ副代表	村濱 望					
同	射水ボーイズ副代表	四柳 智理					
同	加賀ボーイズ副代表	下口 勲	大会審判長	北陸支部審判長			本定 敏夫
同	金沢学院大学 附属中学ボーイズ副代表	益井 逸希	大会副審判長	北陸支部副審判長			濱浦 健
同	金沢河北ボーイズ副代表	高松 直人	同	同			松代 勝矢
同	小松ボーイズ副代表	井出 裕史	大会審判委員	中日本ブロック			常任審判諸氏
同	高岡ボーイズ副代表	山田 博志					
同	となみ野ボーイズ副代表	武田 慎一					
同	富山ボーイズ副代表	宮田 克義					
同	富山中部ボーイズ副代表	小島 章予					
同	白山能美ボーイズ副代表	重吉 晃守					
大会事務局長	北陸支部事務局長	吉田 昌洋					
大会事務局	北陸支部副総務部長	柚木 隆					
同	北陸支部副事務局長	金森 新一					
同	北陸支部副事務局長	南野 弘一					

第10回日本少年野球 北陸ジュニア大会 トーナメント表

開催日 令和5年6月25日(日)、7月1日(土)・2日(日)

閉会式 令和5年7月2日(日)決勝戦終了後

予備日 令和5年7月29日(土)



試合会場	住 所	担当チーム
A:物見山球場	石川県能美市来丸町ワ12	白山能美
B:県営富山球場	富山県富山市五福五区1942	富山中部
C:片山津球場	石川県加賀市潮津町ソ-1	石川
D:城南スタジアム	富山県南砺市泉沢720	となみ野
E:寺井球場	石川県能美市栗生町西7	となみ野

第10回 日本少年野球 北陸ジュニア大会 審判割当表

	試合	組合せ	試合開始 予定時間	球審	塁審			試合会場	会場運営	常任数
					一塁	二塁	三塁			
1 日 目	A-1	金学附中vs射水	9:00	常任	金学附中	常任	射水	物見山球場	白山能美	3
	A-2	白山能美vs京都東山	11:30	常任	白山能美	常任	京都東山			
	A-3	富山vs近江	14:00	常任	富山	常任	近江			
	B-1	富山中部vs石川中央	9:00	常任	富山中部	常任	石川中央	県営富山球場	富山中部	3
	B-2	小松vs下呂	11:30	常任	小松	常任	下呂			
	B-3	加賀vs金沢河北	14:00	常任	加賀	常任	金沢河北			
	C-1	高岡vs揖斐本巣	9:00	常任	高岡	常任	揖斐本巣	片山津球場	石川	3
	C-2	石川vs菊川	11:30	常任	石川	常任	菊川			
	C-3	C-1勝者vsとなみ野	14:00	常任	となみ野	常任	C-1勝者			
2 日 目	A-1	初日A-1勝者vs 初日A-2勝者	9:00	常任	初日A-2勝者	常任	初日A-1勝者	物見山球場	白山能美	3
	A-2	初日A-3勝者vs 初日B-1勝者	11:30	常任	初日B-1勝者	常任	初日A-3勝者			
	A-3準決	2日目A-1勝者vs 2日目A-2勝者	14:00	常任	2日目A-2勝者	常任	2日目A-1勝者			
	D-1	初日B-2勝者vs 初日B-3勝者	9:00	常任	初日B-3勝者	常任	初日B-2勝者	城南スタジアム	となみ野	3
	D-2	初日C-3勝者vs 初日C-2勝者	11:30	常任	初日C-2勝者	常任	初日C-3勝者			
D-3準決	2日目D-1勝者vs 2日目D-2勝者	14:00	常任	2日目D-2勝者	常任	2日目D-1勝者				
3	E決勝	2日目A-3勝者vs 2日目D-3勝者	10:00	常任	常任	常任	常任	寺井球場	となみ野	5

※大会初日及び2日目の1塁塁審、3塁塁審は、審判員（B L 3級）のご協力をお願い致します。

〈 大会 規 定 〉

1. 1チームの登録選手は、11名以上25名以内(ベンチ入りは20名以内)とする。
2. 出場選手は本大会登録締め切り日現在、連盟への登録済みの者に限る。
3. 審査証は2023年度発行のものに限る。
4. オーダー表記選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチに入れないが、チーム責任者、監督、コーチは試合開始までに間に合った場合は、審査の上、その時点でベンチ入りができる(マネージャーの登録証携帯の有無は問わない)。また、選手は試合終了までに間に合った場合は、審査の上その時点でベンチ入りを認める。
なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
5. 組合せの若い番号が1塁ベンチ、後番号が3塁側ベンチに入る。ただし、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
6. 監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニホームを着用すること。マネージャーは同じ帽子を着用すること。
7. 試合開始時刻60分前に試合球場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球回数記録表(副)3部(初日2試合目・2日目)、大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。 ※「投手投球数記録表(副)」については「投手投球回数記録表(副)」を代用できる。
8. オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
9. 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れない時には、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣告することができる。
10. 試合方式など
 - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を越えた場合、新しいイニングには入らない。(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する。)
 - (2) 降雨や視界不良などにより試合続行不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に試合が不可能になった場合はサスペンデッドゲームとする。
 - (3) 4回終了時(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は、4回表終了時)10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (4) 7回終了時、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を越えて(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施規則」参照)
11. 投球数について (2022年度投球制限ガイドラインに基づく)
 - (1) 投手は1日最大80球以内とし、連続する2日間で120球以内とする。
連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球禁止とする。
3連投(連続する3日間)する場合は、1日の投球数を40球以内とし、4連投(連続する4日間)は禁止する。
 - (2) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可能とする。
 - (3) (1)～(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は翌日以降に投球にカウントしない。
 - (4) 連続する2日間で80球を超えた投手並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
 - (5) ボークは投球数としない。
 - (6) 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。
 - (7) 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分配慮する事。
 - (8) ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。
また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。
12. (1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれ1回の指示・伝達を認める。(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
 - (2) 守備側の投手に関する指示、伝達が3回となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
 - (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
 - (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣告してから「30秒以内」とする。
13. 1イニングで同一の投手に対する指示、伝達が2回となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置につくことができるが、同一イニングでは投手として登板することができない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
14. 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。
15. 監督またはコーチが投手に指示などするときは、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
16. 2塁走者やベースコーチなどが投手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
17. ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
18. 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。

19. 各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定道具【マスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファウルカップ(一体型捕手用マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く)】を2組備えること。
20. ユニフォーム、バット(グリップテープ)、ボール、スパイク、クラブ等は連盟指定業者のものに限る。
21. 捕手は必ずヘルメットならびに指定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 22.グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
23. ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
24. 光化学スモッグ発生(予報・注意報・警報)の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
25. 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
26. 大会中の負傷については応急処置を行うが、それ以外の責任は持たない。

参考

野球規則7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデットゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チーム総得点により決する。

【注】我が国では正式試合となった後のある回の途中でコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデットゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の裏でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうちにまたは裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施規則》

- (1) 特別守則
 - (イ) 延長8回あるいは試合開始から2時間を越えて(いずれか早い方)、決勝戦は10回あるいは2時間20分を越えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
 - (ロ) 打者は、前回正規の打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
 - (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の打順の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者とする。
 - (二) この場合の代打および代走は認められる。
- (2) タイブレーク時の、チームおよび個人記録
チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項を留意すること。
 - (イ) 投手記録
 - ・ 規定により出塁した3走者は、自責点とはしない。
 - ・ 完全試合は認めない。
 - ・ 無安打、無得点試合は認める。
 - (ロ) 打撃成績
 - ・ 規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁死、得点、残塁などは記録する。
 - ・ 規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録する。

2023年度公認野球規則 並びに連盟特別規則による。

2022年8月1日改訂版(公財)日本少年野球連盟 指導者・審判員ハンドブックによる。

中学生投手の投球制限統一ガイドライン適用

以 上

投手投球数制限の運用細則

令和3年7月3日
(公財) 日本少年野球連盟

1. 投球数の定義

試合中に投手が捕手に向かって投げた球とする。

以下の場合、球数としてカウントしない。

①牽制球

②ボーク

※ただし走者なしの場合のボークで投球動作中にボールが手から飛び出し、ファウルラインを超えて「ボール」と宣告された投球数はカウントする。

③当該打者へ申告敬遠を行ってからの投球数

※雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。

2. 投球数の管理

①球場責任者は、スコアラー1名、投球数管理責任者と投球数管理者の2名を配置する。

②投球数管理責任者は別紙「投球数集計表(原本)」により記録する。

③もう一人の管理者は、カウンター、得点版(代用)等の器具を用いて投球数を計測する。

④イニング終了時に投球数管理責任者、管理者とスコアラーにより投球数を一致させる。

⑤投球数が一致しない場合は、3人のうち多い方を投球数と決定、3者が一致しない場合は投球数管理責任者の投球数を記録する。

⑥確定した投球数を次のイニング開始前にアナウンサーが球場にアナウンスする。

⑦投球数はイニング毎の投球数及びその投手の総数の投球数をアナウンスする。

(例「この回の得点は〇点、投球数は〇球です。なお、△□投手の総投球数は〇球です。」)

⑧各チームはアナウンスされた投球数と違うと判断した場合は、監督がタイムをかけて球場責任者及び投球数管理責任者と協議して投球数を決定する。

3. 運用・管理方法について

①当日の試合終了後、勝ち上がりチームは、「投手投球数記録表」(副3枚)を作成し球場責任者に提出すること。なお、当面は「投手投球回数記録表」(副)を代用して差し支えない。

②球場責任者は提出された「投球数記録表」(副)を上記2の投球数管理のもとに間違いがないかを確認し、「投手投球数記録表」(正)を作成、署名交付する。

③球場責任者又は勝ち上がりチームが責任を持って翌日以降の大会の球場責任者に対して、「投手投球数記録表」(正)及び(副3枚)を引き継ぎ、球場責任者は「投球数集計表(原本)」を保管する。

④翌日以降の球場責任者も①～③の手順に沿って投球数管理を行い最終的に大会本部に引き継ぐ。

「中学生投手の投球制限統一ガイドライン」の適用例

※レギュラー・ジュニアの部

	第一日 目	第二日 目	第三日 目	第四日 目	第五日 目	第六日 目	備 考
投手A	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。 (打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手B	80	40	休	80	0	80	一日目80球、二日目40球で連続する2日間で120球となったため、三日目は投手・捕手として出場できない。(※また、2日間で80球を超えているので三日目は捕手として出場できない規定もある。 投手D参照)
投手C	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板した場合は、四日目は投手・捕手として出場できない。 四日目が休みだったので、五日目80球、六日目40球の投球は可能。
投手D	40	45	休	30	60	休	一、二日目で80球を超えたため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四、五日目で連続する2日間で80球を超えているため、六日目の3日間連続登板および捕手として出場できない。
投手E	40	40 40	休	80	0 40	休	一、二日目で40球以内の3連投をしているため、三日目は投手・捕手として出場できない。四日目は80球のため五日目は投球した時点から1試合目に登板してなくても連続する2日間で80球を超えるため六日目は投手・捕手として出場できない。
投手F	30 50	休 ※捕手可	40 40	40	休	80	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投できないが、 ※連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。 第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。
投手G	40 40	40 休	休	0 40	40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、第二日目第二試合・第六日目は投手・捕手として出場できない。 また、3連投する場合、1試合目・2試合目は打者の途中であっても40球以内に交代しなければならない。

「小学生投手の投球制限統一ガイドライン」の適用例

※レギュラー・ジュニアの部

	第一日 目	第二日 目	第三日 目	第四日 目	第五日 目	第六日 目	備 考
投手A	70	0	70	0	70	0	70球投げた翌日には登板していないため、翌々日には70球投球できる。 ※打者終了時に70球を超えても、1試合分の最大カウント数は70球
投手B	70	35	休	70	0	70	連続する二日で105球の制限があるため、一日目70球投球した場合、二日目は35球が最大となる。
投手C	30	30	休	40	65	休	1日の最大投球数70、かつ連続する二日間105球未満だが、3連投禁止のため、第三日目は登板できない。※捕手としては出場可能
投手E	50 20	休	70	0	70	0	ダブルヘッダーの登板は可能だが、1日70球制限のため、第一日目の1試合目に50球投球した場合、2試合目は20球が最大となる。 また、ダブルヘッダーで2試合登板した場合、連続する二日間投球を行ったことになるため、第二日目は登板できない。※捕手としては出場可能
投手F	35	0 70	休	70	35 休	休	第一日目(第四日目)に登板しているため、第二日目(第五日目)のダブルヘッダーは、1試合目、2試合目どちらかしか登板できない。加えて、3連投禁止のため、第三日目(第六日目)は登板できない。 ※捕手としては出場可能 連続する二日で105球の制限があるため、第二日目は70球、第五日目は35球が最大となる。

【小学生・中学生 共通事項】

※打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
※数字は投球数。「休」は投手・捕手として出場できない日。(小学生は捕手の出場は可)「0」は登板しなかった試合。
※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

2日間で3試合に登板するときの注意点

※2日間で3試合登板するには、1試合でも40球より多く投げてはいけない。40球は大丈夫です。41球はダメ。

第1日目		第2日目	
第1試合	第2試合	第1試合	第2試合
39球	40球	40球	投球禁止(捕手不可)
打者の途中で交代が必要。	1日の投球数が79球で上限投球数の80球に達していないため、2試合目で40球を投球した時点で降板をしないと2日目に投球できない。打者の途中で交代が必要。	2日間で119球の投球であるが3連投目の40球の制限が来たので最後の打者として打ち取るまで投球可能	
40球	40球	投球不可	投球禁止(捕手不可)
打者の途中で交代が必要。	但し1日の投球上限が80球のため、最後の打者は打ち取るまで投球可能。上限以上の投球数はカウント数は加算しない。	前日ダブルヘッダーの当番で最後の打者として実質40球を超えて投球したので投球不可(前日2試合とも40球以下であれば3連投として投球可能)	

第1日目		第2日目	
第1試合	第2試合	第1試合	第2試合
39球	40球	休	40球
打者の途中で交代が必要。	1日の投球数が79球で上限投球数の80球に達していないため、2試合目で40球を投球した時点で降板をしないと2日目に投球できない。打者の途中で交代が必要。		同上 最後の打者として40球超えて投球可能
40球	40球	投球不可	投球不可
打者の途中で交代が必要。	但し1日の投球上限が80球のため、最後の打者は打ち取るまで投球可能。上限以上の投球数はカウント数は加算しない。		

第1日目		第2日目	
第1試合	第2試合	第1試合	第2試合
39球	無	40球	40球
打者の途中で交代が必要。		打者の途中で交代が必要。	同上 最後の打者として40球を超えて投球可能
40球	無	40球	40球
打者の途中で交代が必要。		打者の途中で交代が必要。	3連投扱いとし3連投の投球可能数が40球、最後の打者に超えて投球可能である。

第1日目		第2日目	
第1試合	第2試合	第1試合	第2試合
休	39球	40球	40球
	打者の途中で交代が必要。	打者の途中で交代が必要。	2日間で119球であるが3連投の3日目40球の制限であるため最後の打者に超えて投球可能
休	40球	40球	40球
	打者の途中で交代が必要。	打者の途中で交代が必要。	2日間での投球上限数が120球のため、最後の打者は打ち取るまで投球可能。上限以上の投球数はカウントしない。

1			
金沢学院大学附属中学校ボーイズ			
北陸支部			
代表	梅田 英範		
監督	岩井 大		
コーチ	山田 裕太		
マネージャー	今井 翔大		
1	坂本 橙矢	2年	1
2	堀内 虎太郎	2年	2
3	主将 久井 悠次郎	2年	3
4	篠木 陽太	2年	4
5	谷坊 琉偉	2年	5
6	池下 駈	2年	6
7	畑 佑醍	2年	7
8	小笠原 豊	2年	8
9	福田 竜万	2年	9
10	武藤 秀河	2年	10
11	竹内 佑	2年	11
12	宮嶋 和哩	2年	12
13	甲賀 刻	2年	13
14	川村 琉晟	2年	14
15	山本 琥太郎	2年	15
16	西山 琥	2年	16
17	吉野 翔	2年	17
18	中山 翔月	2年	18
19	安井 響	2年	19
20	深田 陸斗	2年	20
21	和田 透真	2年	21
22	坂本 ジョージ	2年	22
23	福田 蓮	1年	23
24	岩崎 海里	1年	24
25	藤森 千登	1年	25

2			
射水ボーイズ			
北陸支部			
代表	中井 昌人		
監督	檜物 将央		
コーチ	夏野 敏之		
マネージャー	小林 奈津子		
14	主将 法土 春道	2年	1
1	海老 大惺	1年	2
4	釣 颯馬	1年	3
8	大門 準紀	2年	4
9	濱田 絢吾	2年	5
12	矢野 太智	1年	6
17	松木 大河	1年	7
21	森田 雄心	1年	8
23	鳥崎 晟	1年	9
24	西川 恭輔	1年	10
25	明道 太志	2年	11
27	野口 澄人	2年	12
31	吉田 陽向太	1年	13
34	二口 力絆	2年	14
41	竹林 遥生	1年	15
51	柿谷 悠斗	1年	16
55	山本 健翔	2年	17
77	南 琉惺	1年	18
88	穴田 浩輝	2年	19
89	高木 陽路	2年	20

3			
白山能美ボーイズ			
北陸支部			
代表	中町 光教		
監督	金田 肇		
コーチ	前田 直樹		
マネージャー	山崎 裕章		
26	主将 堤 理貴	2年	1
2	亀田 也登	1年	2
7	有馬 磨愛	2年	3
11	宮本 晃牙	1年	4
12	千田 賢輔	2年	5
13	横内 一心	1年	6
16	南 翔太	2年	7
18	杉永 結海	1年	8
19	山崎 翔	2年	9
22	餘助 輝	2年	10
25	奥村 星哉	1年	11
33	増永 隼士	1年	12
34	山下 透真	1年	13
41	稲場 健留	1年	14
42	大森 悠生	1年	15
48	西村 優哉	2年	16
49	江口 心球	2年	17
51	山口 徹真	1年	18
63	亀田 閔己	1年	19
77	北 和真	2年	20

4			
京都東山ボーイズ			
京都府支部			
代表	加藤 義幸		
監督	甲斐 省三		
コーチ	山本 祐也		
マネージャー	中村 匡志		
28	主将 吉岡 和毅	2年	1
0	松崎 駿	2年	2
1	西村 宥人	2年	3
2	井上 和真	2年	4
4	室木 紫瑛	2年	5
5	井上 蓉	2年	6
6	今江 勇稀	2年	7
7	鈴木 垂路	2年	8
8	西田 亜音	2年	9
10	中村 優太	2年	10
13	渡部 悠	2年	11
18	福島 大雅	2年	12
34	野村 祐哉	2年	13
41	大前 孝介	2年	14
51	阿部 琉吾	2年	15
54	杉浦 壮太	2年	16
67	森 陽希	2年	17
77	西村 來叶	2年	18

5			
富山ボーイズ			
北陸支部			
代表	島 隆之		
監督	小田 満		
コーチ	上山 博之		
マネージャー	出江 克也		
16	主将 谷井 将磨	2年	1
1	坂又 海吏	1年	2
3	藤樫 広夢	2年	3
6	中川 凱斗	2年	4
7	舟崎 弾	2年	5
9	村田 龍亮	1年	6
13	舘 夏生	1年	7
15	萩中 陵生	1年	8
17	中川 泰雅	2年	9
19	柳瀬 蒼太	2年	10
25	中嶋 祥吾	2年	11
32	堀井 洸輔	1年	12
34	秋岡 柚稀	2年	13
39	本瀬 舜	1年	14
68	河村 銀大	1年	15
78	篠田 琥太郎	2年	16

6			
近江ボーイズ			
滋賀県支部			
代表	安村 勝男		
監督	池澤 真也		
コーチ	中井 常行		
マネージャー	岸上 孝治		
26	主将 北田 晟太郎	2年	1
5	久保 駿汰	1年	2
6	山口 烈音	2年	3
9	丸山 雄聖	1年	4
11	平尾 研伝	2年	5
12	加藤 颯真	1年	6
14	金木 優晴	1年	7
17	奥田 陽翔	1年	8
19	田代 壮一	2年	9
20	宮川 孝太	1年	10
24	束花 倫太郎	2年	11
25	山岡 聖夏	2年	12
27	大西 紗知	1年	13
30	森 奏羽	1年	14
31	山本 遥翔	1年	15
34	竹本 陽斗	1年	16
35	吉澤 銀之介	1年	17
39	和田 志巧	1年	18
61	福永 騎士	1年	19
77	豊富 大誠	2年	20

7			
富山中部ボーイズ			
北陸支部			
代表	野替 隆博		
監督	河井 悟		
コーチ	中瀬 拓幸		
マネージャー	杉村 毅		
55	主将 中瀬 叶大	2年	1
0	吉田 怜緒	1年	2
1	川添 涉	2年	3
4	土反 悠聖	1年	4
6	深川 志龍	1年	5
10	金川 太一	2年	6
11	外山 隼	2年	7
12	高田 三輝	1年	8
17	横山 力	2年	9
21	河井 絢音	2年	10
23	元文 颯真	2年	11
27	道音 丈	1年	12
28	五十嶋 暁大	1年	13
29	村上 想芽	1年	14
30	河原 蓮人	1年	15
31	吉岡 琉生	2年	16
33	吉崎 遼	2年	17
37	三鍋 清乃	2年	18
39	坂口 昊	1年	19
51	池田 奏翔	2年	20
85	犬嶋 天河	2年	21
89	五十嵐 優月	2年	22
99	吉岡 真洸	1年	23

8			
石川中央ボーイズ			
北陸支部			
代表	佐々木 昭博		
監督	佐野 好貞		
コーチ	鷲尾 直哉		
マネージャー	新野 元希		
77	主将 馬淵 晴渡	2年	1
2	上野 昊我	2年	2
3	上野 琥我	1年	3
4	繁森 郁弥	1年	4
6	新保 泰成	2年	5
7	寺井 惺志郎	1年	6
8	天井 蒼祐	1年	7
9	村田 蓮	1年	8
10	清水 陽斗	1年	9
11	中田 泰雅	1年	10
14	桶 喬一朗	1年	11
18	松原 叶夢	1年	12
19	卯野 悠真	1年	13
21	岡島 優希	1年	14
22	三島 健誠	1年	15
23	松下 右京	1年	16
24	岡 昌樹	1年	17
27	北 夢優	1年	18
29	下 照英	2年	19
33	浅香 勇仁	1年	20
40	岩平 聡大	1年	21
55	中田 大貴	2年	22
63	大塚 彪巨	1年	23
89	森 武虎	1年	24
98	瀬戸 壹歩	1年	25

9

小松ボーイズ		
北陸支部		
代表	中山 晃一	
監督	高橋 宏之	
コーチ	奥村 知樹	
マネージャー	山川 翼	
17	主将 宮浦 峻	2年 1
2	木村 隼大	2年 2
3	旭 隼	1年 3
7	小西 琥空	2年 4
8	村永 大晟	2年 5
10	瀬川 凜	2年 6
14	澤田 友樹	2年 7
20	大森 慧	2年 8
21	寺田 生冴	1年 9
23	山川 立稀	2年 10
25	筒井 翔太	2年 11
27	久保 蒼士郎	2年 12
41	岩倉 康大	2年 13
44	林 礼樹	2年 14
51	椛谷 愁弥	1年 15
52	濱田 明秀	2年 16
55	東方 恋治	2年 17
61	中村 彪雅	1年 18
63	阿部 彪克	1年 19
87	奥田 晋ノ介	1年 20
21		
22		
23		
24		
25		

10

下呂ボーイズ		
岐阜県支部		
代表	奥田 浩二	
監督	田口 泰久	
コーチ	松尾 太佑	
マネージャー	松山 慎一	
33	主将 船坂 参汰	2年 1
0	田口 圭人	2年 2
1	砂畑 旺佑	2年 3
3	安江 健悟	2年 4
4	道下 獅洋	2年 5
6	山下 昊斗	2年 6
7	松山 孟功	2年 7
9	蒲 拓磨	1年 8
14	長瀬 健祐	2年 9
16	田中 来琉	2年 10
17	熊崎 大志	2年 11
18	清水 康太郎	2年 12
22	二村 虎次郎	2年 13
23	松下 兼三	1年 14
24	小野 礼人	2年 15
26	新井 颯斗	2年 16
29	砂田 月陽	2年 17
34	尾崎 楓河	2年 18
76	古内 颯汰	2年 19
20		
21		
22		
23		
24		
25		

11

加賀ボーイズ		
北陸支部		
代表	井野上 盛光	
監督	竹田 和生	
コーチ	荒勢 茂一	
マネージャー	渡辺 丞治	
19	主将 渡辺 陽唯呂	2年 1
0	小林 祐太	2年 2
1	河田 晴紀	1年 3
10	中村 幸之亮	1年 4
11	坂下 洵斗	1年 5
18	濱田 亘惺	1年 6
23	美濃屋 陽輝	1年 7
24	角 凌冴	1年 8
27	竹本 憲史	1年 9
32	吉田 英仁	1年 10
66	北野 牙琥	1年 11
88	上出 葵斗	1年 12
92	辻野 真叶	1年 13
20		
21		
22		
23		
24		
25		

12

金沢河北ボーイズ		
北陸支部		
代表	松山 健一	
監督	山下 翔太	
コーチ	奥野 晃平	
マネージャー	高松 直人	
29	主将 福田 陸	2年 1
0	西村 大翔	1年 2
1	長崎 正宗	2年 3
2	三上 颯輝	1年 4
6	百貫 陸	2年 5
10	佐藤 弘晟	1年 6
11	竹端 卓翔	1年 7
14	東 礼翔	2年 8
16	茶志川 龍星	2年 9
21	田村 奏	1年 10
24	竹中 諒希	2年 11
25	浦崎 翼	1年 12
28	上野 瑛士	1年 13
48	杉本 一樹	2年 14
51	徳野 裕心	1年 15
56	仙崎 廉大	1年 16
55	澤野 晃輔	2年 17
67	坂田 遥絆	1年 18
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

13

高岡ボーイズ		
北陸支部		
代表	定塚 泰良	
監督	小西 友之	
コーチ	山本 浩二	
マネージャー	登坂 秀司	
26	主将 中尾 颯汰	2年 1
1	登坂 陽太	2年 2
2	中 咲斗	2年 3
6	私市 大俄	1年 4
8	林 隼聖	1年 5
9	石丸 虎太郎	2年 6
10	小林 宥雅	2年 7
13	秋山 倫太郎	2年 8
16	小林 大峨	1年 9
19	河原 天馬	1年 10
20	山田 航太郎	2年 11
22	金森 義典	1年 12
23	小西 悠仁	2年 13
24	工藤 拓也	2年 14
25	新井 煌己	2年 15
27	小林 悠馬	1年 16
28	大巻 貴翔	1年 17
29	金子 鳳之助	1年 18
34	山本 蒼樹	2年 19
20		
21		
22		
23		
24		
25		

14

揖斐本巣ボーイズ		
岐阜県支部		
代表	国枝 義孝	
監督	岡本 吉守	
コーチ	塚田 秀俊	
マネージャー	石川 未生	
10	主将 二村 理月	2年 1
1	所 龍平	2年 2
2	小森 誠士	2年 3
3	小森 瑛仁	2年 4
6	坂井 亮介	2年 5
14	羽賀 隆瑛	2年 6
16	林 駿吾	2年 7
19	小崎 英則	2年 8
24	小川 嵐士	2年 9
25	蟹江 優斗	2年 10
27	出口 桜太郎	2年 11
29	堀 暁大	2年 12
31	河瀬 光流	2年 13
32	後藤 海渡	2年 14
39	牧村 球児	2年 15
55	石川 愛斗	2年 16
61	青山 歩叶	2年 17
88	内藤 大稀	2年 18
99	和田 煌生	2年 19
20		
21		
22		
23		
24		
25		

15

となみ野ボーイズ		
北陸支部		
代表	野原 雅明	
監督	前田 満	
コーチ	小山 智志	
マネージャー	山崎 誉之	
30	主将 飛渡 亮介	2年 1
1	石田 尚樹	2年 2
3	永森 昊	1年 3
4	高桑 颯太	2年 4
5	山本 真聖	2年 5
7	谷 亜伊斗	2年 6
8	尾田 敦貴	2年 7
9	井波 虎空	1年 8
10	湯浅 颯斗	2年 9
11	河合 太郎	1年 10
13	永森 颯	1年 11
14	木村 力	2年 12
15	山崎 琉生	2年 13
19	窪城 翔栄	1年 14
23	川合 怜	1年 15
31	長谷川 優月	2年 16
33	川北 智也	2年 17
55	徳田 元輝	1年 18
20		
21		
22		
23		
24		
25		

16

石川ボーイズ		
北陸支部		
代表	村山 和光	
監督	山下 靖	
コーチ	権谷 範幸	
マネージャー	田口 竜也	
22	主将 中谷 凜乙	2年 1
16	浅田 遥斗	2年 2
17	高木 悠伍	2年 3
18	櫻井 陸	2年 4
19	土井 權	2年 5
20	寺内 陸翔	2年 6
21	松本 悠翔	2年 7
23	長谷 悠慎	2年 8
24	前田 旺吉朗	2年 9
25	米田 寛太	2年 10
26	飲 信太郎	2年 11
27	新出 葵琉	2年 12
28	金田 宙大	2年 13
29	松本 一輝	2年 14
30	高田 晴	2年 15
31	杉本 一太	2年 16
33	山崎 和真	1年 17
34	森田 悠翔	1年 18
36	戸出 陽太	1年 19
38	市村 優斗	1年 20
39	米田 尊	1年 21
40	竹田 文太	1年 22
41	丸井 耀翔	1年 23
42	井上 晃希	1年 24
43	喜多 隼大	1年 25

17

菊川ボーイズ			
静岡県支部			
代表	池田	竜司	
監督	鈴木	修平	
コーチ	大石	丈二	
マネージャー	鈴木	芳美	
99	主将 池田	樹	2年
10	萩原	来玖	2年
12	堀内	慶也	2年
16	鈴木	彰瑛	2年
17	大石	星翔	2年
23	赤堀	貴生	2年
28	匂坂	隼士	2年
29	鈴木	翔真	2年
31	山名	香嘉	2年
33	黒田	琉星	2年
37	吉田	善	2年
44	鈴木	隼生	2年
51	笹瀬	琢斗	2年
57	當摩	楽太郎	2年
63	松本	惟牙	2年
75	赤堀	陽斗	2年
81	横山	颯人	2年
86	藤本	桜雅	2年
91	松本	紘人	2年

北陸ジュニア大会 歴代 優勝/準優勝チーム

【優勝】

- 第1回 石川ボーイズ(北陸支部)
- 第2回 小松ボーイズ(北陸支部)
- 第3回 若狭ボーイズ(福井県支部)
- 第4回 射水ボーイズ(北陸支部)

【準優勝】

- 白山能美ボーイズ(北陸支部)
- 加賀ボーイズ(北陸支部)
- 高岡ボーイズ(北陸支部)
- 菊川ボーイズ(静岡県支部)

第5回 天候不良により中止

第6回 高岡ボーイズ(六陸支部)

三重北ボーイズ(福井県支部)

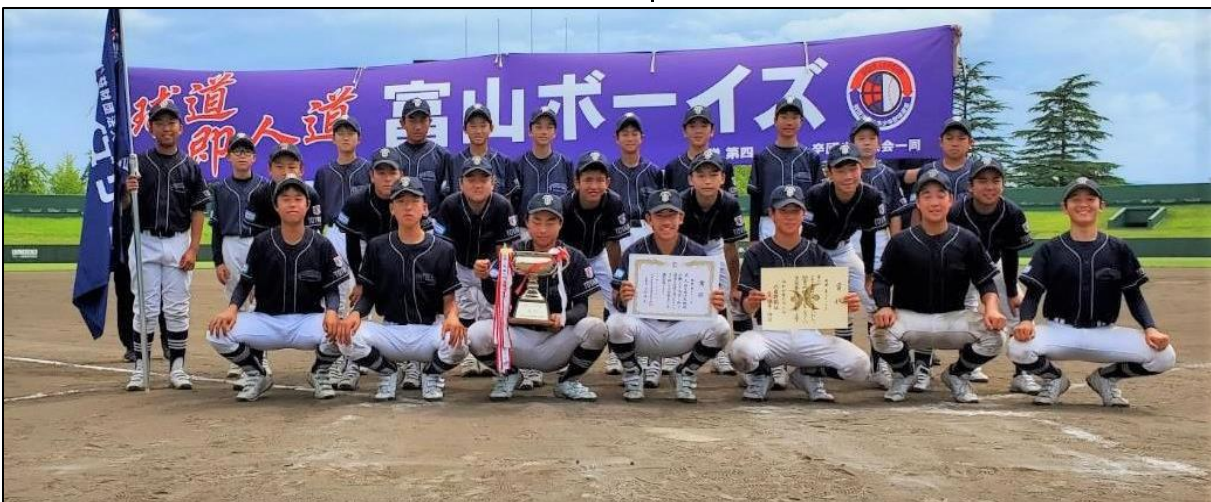
第7回 コロナウィルス感染予防により中止

第8回 白山能美ボーイズ(北陸支部)

加賀ボーイズ(北陸支部)

第9回 富山ボーイズ(北陸支部)

富山中部ボーイズ(北陸支部)



<第9回優勝・富山ボーイズ>

日本少年野球連盟 2023年度スローガン

GO FOR IT
～全力で進もう～

日本少年野球連盟 中日本ブロック 2023年度スローガン

Make a dream come true

